



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月5日

上場会社名 株式会社ハイデイ日高 上場取引所 東
コード番号 7611 URL <https://www.hiday.co.jp/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青野 敬成
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 石田 淳 TEL 048-644-8030
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日—
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の業績（2023年3月1日～2023年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	36,095	30.9	3,643	—	3,778	87.2	2,549	103.5
2023年2月期第3四半期	27,569	49.1	151	—	2,018	72.4	1,252	64.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	67.13	—
2023年2月期第3四半期	32.99	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	32,066	24,424	76.2
2023年2月期	29,181	22,974	78.7

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 24,424百万円 2023年2月期 22,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2024年2月期	—	17.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	18.00	35.00

(注) 2024年2月期第2四半期期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 創業50周年記念配当5円00銭

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年2月期の業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	23.1	4,150	574.0	4,300	74.0	2,900	90.9	76.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	38,147,116 株	2023年2月期	38,147,116 株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	173,704 株	2023年2月期	171,352 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	37,974,272 株	2023年2月期3Q	37,977,425 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(表示方法の変更)	7
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行したことにより社会経済活動の正常化が一段と進展し、個人消費やインバウンド需要などの内需が幅広い分野で持ち直し、緩やかな回復傾向にあります。一方で、為替相場の円安、原材料価格やエネルギー価格の高騰の長期化、物価上昇に伴う消費マインドの冷え込みが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、人流の回復に加えて、コロナ禍前以来となる各種催事の復活などによる外出機会の増加、10月には訪日外国人客数が初めてコロナ禍前を上回ったことにより、ご来店客数は着実に回復傾向にあるものの、食材価格や人手不足による人件費関連コストの上昇等、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中ではありますが、当社は「美味しい料理を真心込めて提供します」を経営理念とし、「お客様に美味しい料理を低価格で提供し、ハッピーな一日(ハイデイ)を過ごしていただく」、このことを基本姿勢とし、より多くのお客様に美味しい料理を提供させていただくことに注力いたしました。引き続き、首都圏600店舗体制に向けて安定的な新規出店、サービス水準のさらなる向上、新商品の投入、積極的な販売施策などを推進し、業容拡大を図ってまいります。

当第3四半期累計期間における主な取り組みについて、2024年2月期からの3年間を対象とした中期経営計画「Hiday 500」達成に向けた6つの重点施策、①店舗戦略、②採用の強化・人材育成、③DX推進戦略、④事業拡大・新商品開発・販路戦略、⑤ブランディングの強化、⑥サステナビリティの取組推進に基づいて説明いたします。

〈中期経営計画「Hiday 500」の重点施策〉

①店舗戦略

新規出店を進めるとともに利益の確保が困難な不採算店を退店して、スクラップアンドビルドを推進することで収益率の向上を図っております。

新規出店は13店舗(東京都4店舗、神奈川県4店舗、埼玉県2店舗、千葉県2店舗、茨城県1店舗)、退店が8店舗となりましたので、11月末の直営店舗数は445店舗となりました。業態別店舗数は、「日高屋」(来来軒含む)が412店舗、「焼鳥日高」(大衆酒場日高含む)26店舗、その他業態が7店舗となりました。新規出店した13店舗のうち、ロードサイド店が5店舗を占めています。ロードサイド店は車でのご来店が多く商圏を大きく確保できるため、ファミリー層やビジネスマンを中心に若者から高齢者まで幅広い年齢層のお客様が対象となり、5店舗ともに好調な立ち上がりとなりました。

②採用の強化・人材育成

中長期的な成長を支えるため、新卒採用にとどまらず、中途採用や特定技能外国人採用を強化しています。

フレンド社員(パート・アルバイト)の正社員登用を積極的に実施し、当第3四半期累計期間の中途採用者数は年間計画値を上回る進捗となりました。あわせて、育成と定着率の向上を目的として、中途採用者向けの入社時研修と入社後のキャリアアップフォロー研修を新たに導入しています。

特定技能外国人の採用も順調で、採用後の教育研修にとどまらず、在留資格申請などの事務手続きサポートなどの支援体制を充実させました。特定技能2号の制度拡大にあわせて採用活動をさらに強化していく方針です。

③DX推進戦略

もっと便利に、ご来店いただくことが楽しい店舗運営の実現に向けて取り組んでおります。

お客様の利便性向上、店舗オペレーションの効率化・生産性向上に向けてタッチパネル式オーダーシステムの導入・切り替えを推進、11月末で182店舗に拡充しました。同システム導入は外国人の正社員・フレンド社員がより働きやすい環境を構築できる側面を持つため、多様な人材が活躍しています。配膳ロボットはロードサイド店を中心に25店舗で導入しており、大型の新店舗は配膳ロボット導入を視野に入れたレイアウトを採用しています。

④事業拡大・新商品開発・販路戦略

お客様の多様なニーズにお応えするため、新業態開発・育成、新商品開発、販売チャネルを拡充しています。

商品面では、期間限定メニューを積極的に投入し、9月に季節メニュー「肉そば」、10月に創業50周年記念の復刻メニュー「温玉旨辛ラーメン」、11月に季節メニュー「チゲ味噌ラーメン」を提供しました。「日高屋」の季節メニューでもっとも人気の高い「チゲ味噌ラーメン」は、調理工程を効率化し、提供スピードをアップさせるとともに均質な商品を提供することで例年の注文数を大きく上回っています。

⑤ブランディングの強化

積極的な広報活動や提携先と連携したキャンペーンに取り組み、店舗以外の場所で「日高屋」に接する機会を増やしています。

テレビCM、SNS、動画サイト、ホームページなど、多様なコンテンツを活用して、新商品やお得なキャンペーンなどを継続的に紹介・発信、お客様に楽しい食事を想起していただけるよう活動しております。創業50周年を記念した動画を制作して、ホームページや動画サイトで公開しました。50年間の歴史を振り返り、感謝の気持ちと

未来に向けたメッセージを伝えています。10月には、コンビニエンスストア「ローソン」と共同開発した「にんにくと唐辛子を効かせた担々麺」と「バクダン炒飯」が関東甲信越と北陸で発売され、店舗以外の場所で「日高屋」ブランドを訴求いたしました。

⑥サステナビリティの取組推進

次世代へとつなげて行くために地球にやさしい店作り、地域コミュニティに密着した社会インフラとして地域活性化に貢献するため推進中です。

3月に設置したサステナビリティ委員会では、環境・社会・ガバナンスへの取り組みを強化するため、目標や実行計画の策定を進めています。環境面の計画として、2018年を基準年として2030年度には温室効果ガスの排出量(Scope 1、2)を30%削減する目標を掲げるとともに、サプライチェーン全体での排出量(Scope 3)算定にも取り組む方針です。今後は2050年に向けた長期的な排出量削減目標についても策定してまいります。また、ESGに関する外部評価として、CDP2023気候変動質問書への回答を実施することで、ESG経営にもとづいた課題の抽出と施策の実施につなげます。

上記施策の推進に加えて、3月に実施した価格改定後もご来店客数が伸長してご利用単価も上昇したこと、創業50周年記念感謝祭や生ビール祭などのキャンペーンの実施、コロナ禍で短縮した営業時間の延長に取り組んだことなどが奏功し、当第3四半期累計期間における売上高は360億95百万円(前年同四半期比30.9%増)となりました。10月度の売上高は単月として過去最高額となり、各月の売上高も9ヶ月連続で同月比過去最高額を記録し、第3四半期累計期間としても過去最高額となりました。

生産、原価面につきましては、小麦粉、豚肉、米等の各種食材購入価格上昇もありましたが、増収効果により原価率は28.0%(前年同四半期は28.1%)になりました。

販売費及び一般管理費も増収効果によってフレンド社員の増員・時給アップに伴う人件費の増加や水道光熱費などのコスト上昇分を吸収して、対売上高比が61.9%(前年同四半期は71.4%)に低減しました。

この結果、利益面では、営業利益は36億43百万円(前年同期は1億51百万円の営業利益)、経常利益は37億78百万円(前年同四半期比87.2%増)、四半期純利益は25億49百万円(前年同四半期比103.5%増)となりました。

なお、飲食店チェーン関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は320億66百万円となり、前期末に比べ28億85百万円増加しました。主な要因は、前期末に比べ流動資産の現金及び預金の増加13億92百万円、売掛金の増加3億79百万円、固定資産の投資有価証券の増加5億11百万円等によるものです。

負債合計は76億41百万円となり前期末に比べ14億34百万円増加しました。これは主に未払法人税等の増加7億94百万円、買掛金の増加1億96百万円等によるものです。

純資産合計は、244億24百万円となり前期末に比べ14億50百万円増加しました。これは四半期純利益の計上等によるものです。この結果、自己資本比率は76.2%(前期末78.7%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期通期業績予想については、2023年8月21日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はございません。

今後もお客様においしい料理を快適に楽しんでいただける空間を提供するため、店舗と人財への投資を積極的に実施してまいります。

新規出店は第4四半期期間中に6店舗を計画、既存店の改装・リニューアルも実施しております。

人財採用につきましては、新卒、中途、特定技能外国人と多面的に拡大していきます。人財育成につきましては、研修施設を活用した調理研修、座学研修、社内eラーニングの充実とともに、資格制度をブラッシュアップして正社員・フレンド社員の調理・接客向上により一層取り組んでまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,277,386	11,670,334
売上預け金	133,294	143,089
売掛金	1,121,348	1,500,878
店舗食材	196,425	227,690
原材料及び貯蔵品	41,754	51,530
その他	522,940	522,199
流動資産合計	12,293,149	14,115,723
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,483,591	13,847,968
減価償却累計額	△7,261,281	△7,545,351
建物(純額)	6,222,309	6,302,616
構築物	133,476	133,476
減価償却累計額	△108,138	△110,441
構築物(純額)	25,338	23,035
機械及び装置	2,679,489	2,782,445
減価償却累計額	△2,309,023	△2,358,023
機械及び装置(純額)	370,465	424,422
車両運搬具	19,789	19,721
減価償却累計額	△17,297	△17,099
車両運搬具(純額)	2,491	2,621
工具、器具及び備品	2,789,836	3,006,723
減価償却累計額	△2,273,693	△2,250,797
工具、器具及び備品(純額)	516,143	755,925
土地	1,394,502	1,394,502
建設仮勘定	48,652	39,671
有形固定資産合計	8,579,903	8,942,795
無形固定資産	237,703	201,613
投資その他の資産		
投資有価証券	103,418	614,530
敷金及び保証金	4,371,154	4,338,271
長期預金	2,000,000	2,000,000
その他	1,621,544	1,878,867
貸倒引当金	△25,489	△25,249
投資その他の資産合計	8,070,628	8,806,421
固定資産合計	16,888,235	17,950,830
資産合計	29,181,385	32,066,553

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	962,204	1,158,781
未払法人税等	326,791	1,121,526
賞与引当金	380,942	307,128
その他	2,974,710	3,453,493
流動負債合計	4,644,649	6,040,930
固定負債		
資産除去債務	1,280,292	1,318,523
その他	282,173	282,408
固定負債合計	1,562,465	1,600,931
負債合計	6,207,115	7,641,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,625,363	1,625,363
資本剰余金	1,701,684	1,701,684
利益剰余金	19,784,874	21,233,209
自己株式	△169,477	△175,111
株主資本合計	22,942,444	24,385,146
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,825	39,545
評価・換算差額等合計	31,825	39,545
純資産合計	22,974,269	24,424,691
負債純資産合計	29,181,385	32,066,553

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	27,569,741	36,095,810
売上原価	7,738,092	10,093,038
売上総利益	19,831,649	26,002,772
販売費及び一般管理費	19,679,724	22,358,858
営業利益	151,925	3,643,913
営業外収益		
受取利息	83	71
受取配当金	1,904	1,920
受取賃貸料	3,445	4,334
雇用調整助成金	479,144	67,481
協力金収入	1,263,562	—
受取補償金	63,100	61,154
その他	92,760	52,361
営業外収益合計	1,904,001	187,323
営業外費用		
固定資産除却損	31,058	47,539
その他	6,487	5,170
営業外費用合計	37,545	52,709
経常利益	2,018,381	3,778,528
特別利益		
固定資産受贈益	—	16,940
特別利益合計	—	16,940
特別損失		
減損損失	93,495	17,150
固定資産売却損	1,045	1,516
特別損失合計	94,540	18,667
税引前四半期純利益	1,923,840	3,776,800
法人税等	671,142	1,227,467
四半期純利益	1,252,698	2,549,333

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(表示方法の変更)

前第3四半期累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取補償金」は、金銭的重要性が増したため、独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期累計期間の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期累計期間の損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた155,860千円は、「受取補償金」63,100千円、「その他」92,760千円として組み替えております。

3. 補足情報

①業態別売上高

(単位：千円)

期別 業態区分	前第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)			当第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)			(参考) 2023年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
			%			%			%
日高屋	404	25,802,320	93.6	412	34,017,286	94.2	405	35,765,150	93.7
焼鳥日高	27	1,310,066	4.8	26	1,584,331	4.4	27	1,790,753	4.7
その他業態等	8	457,354	1.6	7	494,191	1.4	8	612,379	1.6
計	439	27,569,741	100.0	445	36,095,810	100.0	440	38,168,283	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 各業態の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

3. 「日高屋」は、「中華食堂日高屋」「来来軒」を含めております。

4. 「焼鳥日高」は、「焼鳥日高」「大衆酒場日高」を含めております。

5. 「その他業態等」は、「中華一番」、「台湾屋台料理 台南」、「大衆食堂日高」、「中華そば神寄」、「中華食堂真心」、FC向けの売上高等を含めております。

②地域別売上高

(単位：千円)

期別 地域区分	前第3四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)			当第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)			(参考) 2023年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
			%			%			%
東京都	207	13,505,784	49.0	203	17,546,293	48.6	207	18,705,018	49.0
埼玉県	108	6,230,958	22.6	109	8,177,977	22.7	107	8,637,763	22.6
神奈川県	68	4,470,406	16.2	72	5,680,916	15.7	68	6,121,487	16.1
千葉県	52	3,113,713	11.3	54	4,162,288	11.5	52	4,313,966	11.3
茨城県	3	164,518	0.6	5	321,179	0.9	4	244,565	0.6
栃木県	1	84,359	0.3	1	104,101	0.3	1	115,447	0.3
群馬県	—	—	—	1	103,053	0.3	1	30,037	0.1
計	439	27,569,741	100.0	445	36,095,810	100.0	440	38,168,283	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 地域別売上高の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

③開設店舗及び閉鎖店舗

〔開設店舗〕

- | | | | | |
|------------|-------------|--------------|--------------|-------------|
| 1. 篠崎南口店 | 2. 相模原ラクーン店 | 3. 板橋区役所前仲宿店 | 4. 成田ウイング土屋店 | 5. 焼鳥日高東十条店 |
| 6. 古河下山店 | 7. 鴻巣下忍店 | 8. 東大宮3丁目店 | 9. 向ヶ丘遊園南口店 | 10. 瀬谷南口店 |
| 11. 四街道北口店 | 12. 秦野鈴張町店 | 13. お花茶屋南口店 | | |

〔閉鎖店舗〕

- | | | | | |
|----------|-----------|--------------|--------|--------------|
| 1. 梅島駅前店 | 2. 本郷3丁目店 | 3. 焼鳥日高亀戸北口店 | 4. 成増店 | 5. 焼鳥日高中井駅前店 |
| 6. 京成立石店 | 7. 巣鴨南口店 | 8. 神保町店 | | |

(注) 店舗名のみは「日高屋」であります。